

～臨床情報・検体の研究利用に関するお知らせ～

『研究課題名 当院における進行非小細胞肺癌に対する免疫チェックポイント阻害薬併用化学療法の検討』

研究機関名 東邦大学医療センター大橋病院

研究責任者 呼吸器内科 職位・氏名 院内助教 ・ 篠澤早瑛子

【試料・情報の利用目的】

取得した試料・情報は、進行非小細胞癌に対する免疫チェックポイント阻害併用化学療法の効果について、検討することを目的とした研究に利用します。

進行非小細胞癌は予後不良の疾患であり、化学療法が主な治療方針となります。免疫チェックポイント阻害薬は免疫細胞の作用を抑える免疫チェックポイントを阻害することでがん細胞に対する免疫を活性化・持続させる薬剤であり、免疫チェックポイント阻害薬を併用した治療は予後を大幅に延長する効果が期待されています。

今回の研究では、当院における免疫チェックポイント阻害薬併用化学療法を行った症例の効果や副作用などを後方的に検討する研究です。この研究により、今後の治療方針の決定の一助となります。

【他機関への提供】

他機関への提供は行いません。

【研究に用いられる試料・情報】

情報: 病歴、診療の治療歴、副作用等の発生状況、採血結果等の個人情報

研究に利用する情報は、患者さんのお名前、住所など、個人を特定できる情報は削除して管理します。また、今回の研究で得られた成果を、医学的な専門学会や専門雑誌等で報告することがありますが、個人を特定できる情報を報告・公開することはありません。

【試料・情報の利用または提供を開始する予定日】

2024年12月より利用を開始します。

【試料・情報の提供を行う機関の名称及びその長の氏名】

該当せず。

【試料・情報の取得方法】

この研究は、(東邦大学医療センター大橋病院)倫理委員会の承認を得て実施するものです。

対象者: 2018年4月～2023年9月までに東邦大学医療センター大橋病院呼吸器内科において、免疫チェックポイント阻害併用化学療法を行った進行非小細胞肺癌の症例が対象です。

方法: 診療録(カルテ)から抽出したデータの解析をします。

本研究にて利用する情報は、治療終了後1年間の観察を含む2018年4月～2024年9月までの情報となります。

【研究組織】

代表施設名: 東邦大学医療センター大橋病院 呼吸器内科

研究代表者: 篠澤早瑛子 役職: 院内助教

【利用する者の範囲】

東邦大学医療センター大橋病院 呼吸器内科

【試料・情報の管理について責任を有する者の名称】

東邦大学医療センター大橋病院 呼吸器内科 篠澤早瑛子

本研究に関してご質問のある方、試料や情報を研究に利用することを承諾されない方は、2025年2月28日までに(過去に採取した既存試料を利用する場合)下記へご連絡下さい。申し出のあった方(代諾者も含みます)の試料・情報は、利用しません。その場合でも、患者様に不利益になることはありません。

【連絡先および担当者】

東邦大学医療センター大橋病院 呼吸器内科

職位・氏名 院内助教・篠澤早瑛子

電話 03-3468-1251 内線 7544